



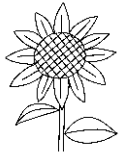
小山台中学校だより

◆発行 横浜市立小山台中学校 〈住所〉横浜市栄区小山台1-14-1
◆校長 岩田 明正 〈電話〉892-7512
◆副校長 小野寺 啓司 〈FAX〉893-4638
◆教職員一同

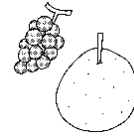
◆学校教育目標

未来をたくましく
生きる力を育てます

- 自立
- 協働
- 挑戦



夏が始まったきみはどうだ



岩田 明正

7月になり、夏も本格的になってまいりました。

暑いですが(暑すぎですが)、夏は生物を活性化させ、植物などもどんどん育つ時期でもあります。それは人も例外ではありません。つまり、暑さ=エネルギー。いろんな意味で夏は成長の時期といえるのではないかと思います。

夏といえば夏休み。この長期休業期間は、生徒の皆さんにとっては、普段の学校生活から離れ、自由度が増す時期となります。この自由な時間というのがとても重要です。自由な時間の過ごし方は、自分で選択して決めることができます。そこにはおのずと「自主性」が強く表れますが、自主的に何かに取り組んだ際の成果は、そうではないときに比べ、断然いい結果に結びつくといわれます。また、人が成長するときに必要なのが「間」なのだそうです。運動でも学習でも活動を絶え間なく行うよりも、休息だったり、そこまで行ったことの振り返りだったりする時間が成長には大切なのだとか。そういえば、昔から寝る子は育つといえますよね。つまり、夏休みは自主的に何かに取り組み、そして休み、振り返る時間がたくさんある。エネルギーの充填もしやすい。生徒の皆さんにとっては、「伸び放題!夏の成長祭り!主人公は君たちだ!!」的な期間になるわけです。



せっかくのチャンスをみすみす逃すのはもったいない。ぜひ、一日一日を大切に過ごしてもらいたいものです。とはいうものの、私も含め、人は全員がそんなに強固な意志を持っているとは限りません。また、時間に余裕がある分、身の安全に配慮が必要になる場合が増えるのも確かです。レジャーなどの時間が増え、様々な誘惑が多いのも夏です。そんな環境下で、生徒が安全に、有意義な時間を過ごすための支援をするのが、まわりの大人の役割かと思います。どうか、ご家庭で、地域で小山台中学校の生徒たちをあたたく見守ってください。夏休み明け、健康で大きく成長した生徒の皆さんに会えますよう心より願っています。

小山台中学校ブロック

学校運営協議会

6月18日(木) 図書室

学校運営協議会では、地域や保護者の代表の皆様にご参加いただき、本校の教育活動や子どもたちの様子について意見交換を行いました。学校からは今年度の取組や課題を説明し、委員の方々からは地域の視点に立った貴重なご意見や温かいご助言をいただきました。子どもたちの健やかな成長に向けて、学校・家庭・地域が一体となって支えていくことの大切さを改めて共有する機会となりました。今後も連携を深め、より良い学校づくりに努めてまいります。

小山台中学校区 地域と学校の協働事業実行委員会

総会 6月26日(金) 図書室

今年度は各連合町内会自治会長様をはじめ多くの皆様がお集まりくださり、ブロック内小中学校での昨年度の取組、今年度計画についてのほか、地域、保護者、教職員、それぞれの立場から、子どもたちの健全育成のために何が必要か、どんなことができるのかなど、ご意見をいただき、情報交換をすることができました。引き続き、学校と地域とのよりよい連携を進めていきたいと考えております。今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

夏休みの学習について

いよいよ夏休みが始まります。長い休みは、自分の力を伸ばす大きなチャンスです。まず学習面では、「毎日少しずつ続ける」ことを大切にしましょう。夏休みの課題は早めに計画を立て、生活リズムに合わせて無理なく取り組むことがポイントです。また、苦手な教科の復習や、興味のある分野の本を読むなど、自分のペースで学びを深めてみましょう。生活面では、規則正しい生活を心がけることが大切です。起床・就寝時刻をできるだけ一定にし、食事や運動もバランスよく取り入れましょう。特に暑い日が続くため、こまめな水分補給と休養を忘れないようにしてください。家族の一員として手伝いをしたり、地域の活動に参加したりすることも、良い経験になります。毎日をなんとなく過ごすのではなく、小さな目標を持って行動することで、夏休みは大きく充実したものになります。自分なりの成長を実感できる、有意義な夏にしていましょう。また、この機会に、夏休みの宿題だけでなく、さまざまなコンクール等にも積極的に参加してみましょう。夏休みのしおりには学校に届いた各種コンクール等が紹介されています。それ以外でも調べてみればさまざまなコンクールが開催されています。自分の思いを文章にしたり、絵画にしたり、さまざまな方法で自分を表現することができます。そうすることで、何か新しい発見もあるかもしれません。良い夏休みになることを期待しています。

「私たちができること」 よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 栄区 審査会

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 栄区 区審査会」に本校生徒が出場しました

6月25日(木)、県立地球市民かながわプラザにて「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 栄区 区審査会」が開催されました。このコンテストは、「国際平和のために、自分にできること」を共通テーマとし、SDGsに基づく17の視点の中から自分の考えに関連する視点を取り入れ、自らの経験や思いをもとに意見を述べるものです。参加生徒は、テーマに沿った夢や目標の実現に向けた具体的な方策についても発表しました。

本校からは、校内選考を経て3年生の生徒1名が代表として出場しました。選ばれた生徒は、SDGsの目標「誰一人取り残さない」の視点と「住み続けられるまちづくり」の2つの視点から、「笑って暮らせる社会へ」というタイトルでスピーチを行いました。

スピーチでは、大好きな祖母の認知症と向き合う日々を通して、戸惑い、悲しさ、そして自分の中にあった偏見に気づいていく過程をつづっていました。かつて周囲を笑顔で支えていた祖母が、同じ質問を繰り返したり不安な表情を見せたりする姿に、どう接したらよいのか悩み、病気を周囲に話すこともためらっていました。しかし、地域の方々の支えを得て祖母が安心して暮らせるようになった経験から、認知症は家族だけの問題ではなく、社会全体で向き合うべき課題だと実感し、認知症の人が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられる社会の必要性を伝えていました。祖母への変わらぬ思いとともに、地域で支え合う社会の大切さを見つめ直した内容でした。堂々とした姿勢と真剣な想いは、審査員や観客に大きな感動を与え優秀賞を受賞し、賞状と記念品が授与されました。

皆さんも、今回の人権作文への取り組みを通して、相手を思いやる心や自分の考えを表現する力を育ててほしいと思います。

生徒総会を終えて

皆さん生徒総会お疲れ様でした。今回の生徒総会では各委員会の年間活動計画・予算について、生徒会予算について、そして図書委員会男女規定撤廃案について話し合われました。皆さんは、自ら話し合いに参加することはできましたか。生徒総会は生徒会本部や委員会に入っている人だけに関係があるように思えますが、生徒会本部の活動、委員会の活動は全校への活動へと繋がっています。今回の生徒総会で最初から最後まで真剣に取り組めた人もいれば、「なんとなく」で取り組んだ人もいるでしょう。小山台中学校は自分たちの力でつくっていくんだという気持ちを持ってこれからの生徒会活動に取り組んでほしいです。

今後のおもな予定

7月

6日(月)～9日(木)

三者面談

15日(水)

地区懇談会

17日(金)

全校集会

18日(土)～

夏季休業(8月26日まで)

9月

10日(木)・11日(金)

前期期末試験

26日(土)

土曜参観 学級懇談会